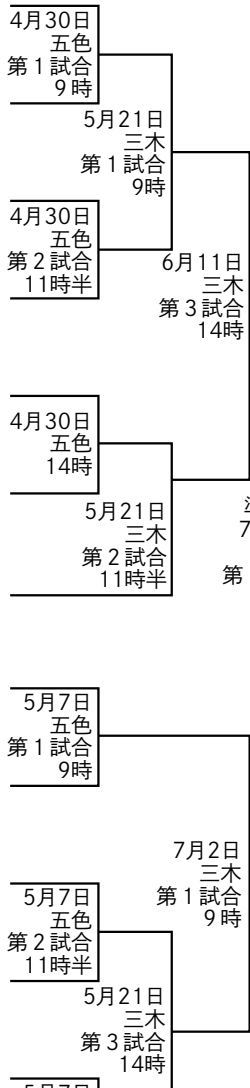


# 2023年(令和5年度) 第19回 マスターズ甲子園兵庫県大会

1. 明石高校
2. 三田学園
3. 甲陽学院
4. 淡路三原
5. 北須磨
6. 洲本実業
7. 伊丹北
8. 神戸国際大附
9. 県立芦屋
10. 甲南高校
11. 尼崎北
12. 津名高校
13. 報徳学園

14. 高砂南
15. 赤塚山・六甲アイランド
16. 市立神港
17. 舞子高校
18. 神戸弘陵
19. 市立西宮
20. 県立西宮
21. 滝川第二
22. 尼崎小田
23. 村野工業
24. 長田高校
25. 洲本高校



第1試合 9:00~  
第2試合 11:30~  
第3試合 14:00~

昨年優勝校伊丹北高校と  
今年の優勝校決定戦  
日程、場所 7月中予定

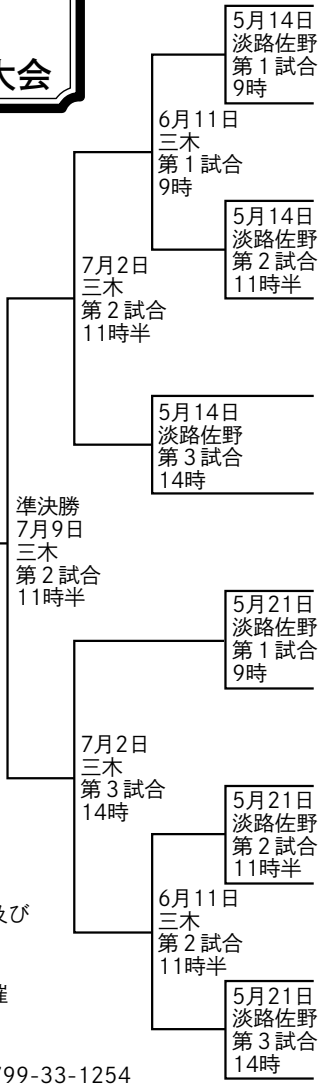
**決勝**

7月9日  
三木  
第3試合

【グラウンド日程】  
三木防災球場  
5月21日 6月11日 7月2日 7月9日  
淡路佐野球場  
5月14日 5月21日  
五色健康  
4月30日 5月7日

近畿大会 8月12日・13日  
近畿大会に優勝すれば、甲子園出場及び  
西日本大会に出場します。  
西日本大会 9月2日・3日  
両大会共、和歌山紀三井寺球場で開催

五色球場住所  
洲本市五色町志大日707 TEL:0799-33-1254



今年の優勝校と伊丹北の対戦は、7月中のグラウンドが確保できた日に行う。  
\* 今年の優勝チームは、昨年優勝校の伊丹北と対戦し勝った方が、兵庫県代表として甲子園に出場する。  
負けた方は、近畿大会に出場し、優勝すれば近畿代表として甲子園出場となり、西日本大会にも出場する。

【確認事項】  
・雨天中止の決定は、前日昼時点の降雨確率80%以上を中止とし、それ以下の場合はグラウンド主催者にゆだねる。  
・県営球場での雨天中止については、当日の判断となります。  
・五色健康球場の最終試合のチームは戸締りと、グラウンド使用料を立替払いする。

## ◆◆◆◆◆ 適応規則 令和5年(2023年) 第19回 兵庫県大会ローカルルール 決定事項 ◆◆◆◆◆

1. 7回制で、1~4回までは34歳以下のチームで行い、5~7回までは35歳以上のチームで行う。  
・試合時間は2時間を目安とし、1回~4回までは70分、5回~7回までは、50分を目安とする。  
・攻守交替を早くし、投球練習は5球までにする。  
・先攻が有利にならないようヤング、オールドの最終インニングの裏まで出来るようにすること。  
(最終インニングまで行けなくて両チームが判断した場合、次のインニングに入る前に両チーム協議の上、そのインニングの裏裏で決着をつける。)
2. ピッチャーは、25歳以上が投げ、2インニング6アウトまで。2人目以降は30歳以上が投げる事。  
・1チーム4人以上の投手が必要となる。  
\*2インニング6アウトとは、1人の投手が打者1人に1球以上投げ、ノーアウトで交代しても1インニング終了とみなす。  
したがって、この試合でその投手が次に投げられるのは、1インニング3アウトまでとなる。
3. 令和5年4月1日時点で35歳の人オールドチームになる。  
(昭和62年~63年3月末生まれ迄がオールドチームになる。昭和63年4月以降生まれは34歳以下のヤングチームになる。)
4. エンフォームは統一してなくても良いが、背番号は必ず付ける。ヤングとオールドの背番号は重複しても良い。
5. DH有り、9人打者制とする。
6. 塁審は、その日試合があるチームから前半2人、後半1人又は、前半1人後半2人出す。  
第一試合の審判は、その日の第三試合の2チームがする。  
第二試合の審判は、第一試合の2チームがする。  
第三試合の審判は、第二試合の2チームがする。  
準決勝、決勝戦は、協会の4審判制にして頂くので、前後チームからの塁審は無し。
7. 同点の場合は、最後に出ていた選手9人が1列に向い合って、順番にジャンケンし5人以上勝った方が勝者になる。  
ただし、決勝戦はオールドチームの延長戦で決着をつける。(あくまで投手は2インニング6アウトまで)  
延長戦は、ノーアウト満塁のタイブレーク方式で、打者は継続打順とする。
8. 野球ルールについて、2023年のオフィシャルルールを適用する。
9. 試合球は各チーム3球づつ出す。大方ファール等でボールが無くなった場合は、無くしたチームが補球する。  
(試合球は新規規格球のマルエス球に限る。)
10. 審判代は、全試合交通費含め10万円(例年の支出額に合わせて頂く)  
・準決勝、決勝戦は、協会の4審判制でして頂く。
11. 棄権する場合は、試合をする週の木曜日までに相手校と北野会長へ連絡しメーリングする。  
・県営球場を使用する場合、棄権はなしとする。(人数が足りない場合、相手チームに相談して交流試合をしていただきます。)
12. 雨天中止の決定について、県営球場以外は前日土曜日の昼の降水確率80%以上とし、それ以下の場合は、グラウンド主催者に委ねる。  
・県営球場を使用する場合は、当日の朝グラウンドで判断される。  
・雨天順延の試合及びグラウンド日程は、運営委員会で協議調整されグループメールでお知らせされる。
13. 試合中に雨が降り、続行不可能となった場合、6回表裏終了していれば試合成立とする。それ以外は、再試合となる。  
・裏のチームが勝っている場合、同点又は逆転されない限り表の攻撃が終了時点で試合終了となる。  
・6回終了時点で、20分以上試合時間が残っている場合は10分程度(試合が成立できる時間)様子を見て、審判及び両チームで協議する。
14. 県営球場で試合をする場合、校歌を流すので各校CDを持参する事。